

## 国語科通信 その9

令和2年5月1日

### ●『いいね!光源氏くん』に注目

～平安時代の恋愛事情、「歌」事情～

- ①4月からNHKで『いいね!光源氏くん』という番組が始まっています。えすとえむさんによるアニメのドラマ化です。
- ②現代日本でひとり暮らしをするOLの部屋に、光源氏が突然タイムスリップするというラブコメディです。
- ③『源氏物語』は『あさきゆめみし』などがそうですが、繰り返し「表現方法」を変えて描かれ続けています。1000年前の文学が、今も、さまざまに影響を与え、楽しませてくれます。
- ④タイムスリップするという手法は、『テルマエ・ロマエ』などでも使われていますが、「対比」の手法と言えます。「対比」によって、それぞれの特質が明瞭になります。一方で、共通のもの(不変、普遍)も見えてきます。
- ⑤『いいね!光源氏くん』では、タイムスリップの手法によって、昔と今とで「様変わりした」恋愛事情と、「変わらない」恋の心情がユーモラスに伝えられます。

⑥まず、「様変わりした」という点で注目するのは、光源氏が感動する(心が動く)と必ずそこで歌を詠むところです。OLも光源氏に影響され詠むようになります。

⑦たいていの現代人は、そんなふうには心が動いたからといって、いちいち「歌」を詠むようなことはしません。が、このドラマでは、光源氏はSNSで不特定多数の人に個人的な心情を「公開」し、直ちに「いいね!」と反応がかえってくる仕掛けになっています。

⑧古文の教材の多くは『源氏物語』を手本とした「擬古物語」であり、最大の特徴は文中に「和歌」があることです。皆さんの中には、「掛詞」「縁語」などの修辞技巧に翻弄され苦手意識をもつ人が多いのですが、一番大切なのは、和歌が詠まれる場面、心が動いた場面を捉えることです。ポイントは以下2点です。

⑨★ポイント1…その場面にどんなものがあるのか(これを素材、モチーフ、対象などと呼びます…たとえば、『和泉式部日記』冒頭では「橘の花」がそうです。多くは、花鳥風月の自然です。)

★ポイント2…その素材にどう心が動いたのか。「動く」というのは「変化」です。人間の心の「変化」「動き」を問題にします。

⑩ものと人間のこころが組み合わせられて「和歌」が生まれます。こ

の原則を忘れなければ、和歌の解釈はかなり楽になります。

⑪話題のドラマがそうであるように、いきなり歌などは詠みません。

それなりの状況設定があって、しかるべくして歌を詠みます。和歌

の前に、状況(ものところ)は描き込んであります。したがって、

「和歌」だけを見るのではなく、むしろ「和歌」の前をしっかりと整理  
しましょう。ここが最重要ポイントです。

⑫和歌は、歌の前の状況を謂わば要約した形、「凝縮」した表現  
です。修辞技巧はその効果的な表現のためのものです。

⑬ところで、たいていの現代人は、心が動いたからといってすぐに  
歌など詠まないと前述しました。しかし、「歌」は詠みませんが、  
「歌」以上の頻度と手軽さで現代人は SNS を駆使しています。

私信のメールであっても、写真や多種多様なスタンプ、絵文字ま  
でも使って行間を埋め、微妙なニュアンスまでも伝えようとしてい  
ます。あの修辞技巧に代わる技巧がちゃんと発達しています。

⑭「方法」は大きく様変わりしてしまっても、「伝えたい」衝動や情  
熱は全く変わらず、むしろ旺盛になっているともいえます。

⑮なぜ、光源氏がこの今にタイムスリップしたのか。

⑯「光源氏」が多くの女性を虜にしたのは、容姿や出自だけでは

ありません。「恋のこころ」を伝える中心手段(唯一手段)の「歌」詠みの名手であったからです。

⑰古語の「すき(好き)」は色好み、好色以外に、「風流の道に心を寄せる」ことも意味します。こまめに、女心をよく研究して、タイミングよく「歌」を詠む「すきもの」の光源氏は、現代だからこそ、その魅力を遺憾なく発揮できる…それで「今」にタイムスリップした…のかもしれませんが。

⑱一見様変わりしたように見えても、底流にある人のところは変わらない。切実な人の思いは変わることはなく、時代に沿ってさまざまな方法をその都度「採択」しながら伝えていく。「タイムスリップ」をしばらく楽しみたいと思います。

⑲最後に、まじめな話題としてNHK広島放送局での企画「Reality?～知ってるつもり、知らないヒロシマ～」を紹介します。その中に、「もし75年前にSNSがあったら?」で、当時の日記を現在のSNSとして再現する取り組みがあります。

⑳同様の仕掛けです。「舟入生」として、是非閲覧してほしいと思います。